



はにわの形の指サック『はにさっく』

開発者インタビュー Vol.2 ～デザイナー編～

いよいよ9月10日に全国発売を開始した、はにわの形の指サック『はにさっく』。本商品は、2010年から活動を開始した若手社員の商品企画プロジェクト「夢工房」で企画した商品です。第2回目のインタビューとなる今回は、『はにさっく』の可愛さの秘密である表情やポーズをデザインした、商品開発課 安井玲二のインタビューです。

●様々な表情が魅力の『はにさっく』ですが、デザインのポイントやこだわった点、苦労した点を教えてください。

安井：

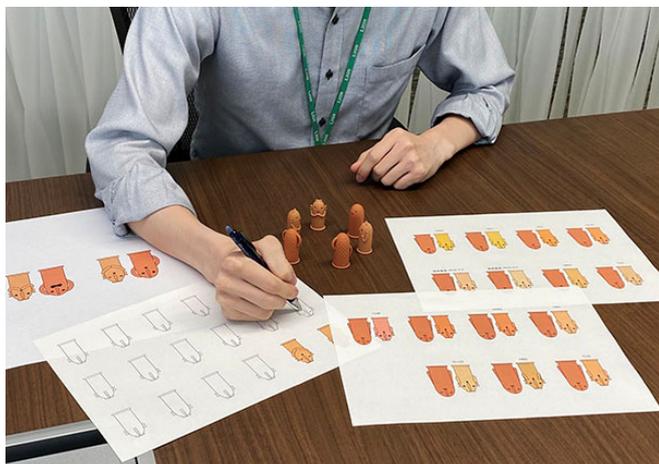
当社ではこれまで、顔の表情がある商品を発売したことがなかったので、まず目指したのは“愛される表情づくり”です。埴輪らしく、どこかとぼけた雰囲気や、ちょっと隙のある表情にしたいと思いました。一番こだわった点は、目の位置やサイズ、離れ具合ですかね。初めてのチャレンジだったので色々と研究をしましたが、その中で「日本ではキャラクターデザインや盆栽など、アシンメトリー（左右非対称）が人を惹きつける」という考え方に着目し、それを踏まえた上でデザインに落とし込んでいきました。実際の埴輪も左右で目の高さが違ってアシンメトリーなので、その古くから伝わるデザインをもとにしながらも、キャラクター性を持たせることの両立ができたのではないかと考えています。目の位置やサイズをほんの少し変えるだけで全く違う表情になるので、バランスを取るのが難しかったです。今回『はにさっく』の表情づくりに携わったことで、デザインの奥深さや面白味を改めて感じました。

●目元や口元、ポーズの違いなどがありますが、全部で何種類くらいの案が生まれたのでしょうか。

安井：

表情やポーズを掛け合わせると、数十パターンはデザイン案を作成しました。ポーズ自体のアイデアはたくさん出たのですが、その中で“きちんと指サックとしての機能を果たすポーズ”に絞り込んでいったので、当初出たアイデアの数はもっと多かったと思います。いくら見た目が可愛くても、指サックとしての機能を損なってはいけないので、使いやすいデザインになるようにプロジェクトのメンバーからも意見やアイデアをもらいながらデザインに落とし込んでいきました。

●安井さんは夢工房プロジェクトで他の商品デザインも担当されています。普段、デザインはどのようなことをきっかけに思いつくのでしょうか。また、日ごろデザインを考える中で参考にしているものがあれば教えてください。



安井：

何かひとつ軸を立てて、そこからどんどん派生させていく手法をとることが多いですね。ネットで情報収集する際には幅広く様々な視点を持つことを心がけています。文具関連の他によく見るのはライフハック系や、たまに料理などの生活情報系の記事もチェックしています。夢工房プロジェクトでは文具に限らず、日々の生活の不便を解消したり、生活が豊かになるような商品づくりを目指しているので、仕事と直接関係ないことでも、ふとしたアイデアが企画に活かされることも多いです。

News Letter

●最後に、今回商品化に至らなかったものも含め、安井さんのお気に入りのデザインはありますか？

安井：

ベーシックな埴輪の他に、ユニークな表情やポーズを取った埴輪もたくさん考えていました。今回商品化された中にも種類採用されたのですが、口元の形が、“おにぎり型”になっている子（HA-201 小サイズの口のデザイン）がお気に入りです。この口のデザインで他の表情やポーズも色々な案を出していったんです。もしもシリーズ化できることになった時のために、そのデザインは温めておきます（笑）。今後別のデザインもお披露目できる機会があれば嬉しいです。

お気に入りとは言うものの、小サイズは自分の指には少し小さいのでデスクに飾っています。『はにさっく』はそばに置いておくだけでも癒されるので、みなさんにもそんな存在に感じていただけたら光栄です。



HA-201の小サイズ

様々な表情のはにわが、大・小ペアで1パック450円（税抜）です。2本の指につけたり同僚とシェアしたり、色々な使い方・楽しみ方があります。そばに置いておくだけで、デスクでの癒しアイテムになるかもしれません。



HA-200

HA-201

HA-202

※本文中に記載されている商品名・役務名は、当社または第三者の商標もしくは登録商標です。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ライオン事務器 広報担当

Mail:koho@lion-jimuki.co.jp Tel:03-5389-9202 Fax:03-3369-4523